

(仮称) 子ども図書館 概要

磐田市こども部子育て支援課

【目的・事業概要】

- 磐田市の未来を担う子どもとその保護者のための真に役立つ施設として、子育て支援機能と図書館機能を兼ね備えた複合施設「(仮称) こども図書館」を設置する
- 現有施設（豊田図書館）を活用し、建物内部の改装を行う
- 一般的な子ども図書館の概念にとらわれず、子育て世代の親子が楽しさやワクワク感をもって利用でき、気軽に子育てに関する相談も行えるリラックスできる癒しの空間を提供する

【想定する機能・特徴】

- **子育て相談機能**
 - ◆ スタッフと子育て世代親子との会話から繋げる「敷居の低い」相談体制
 - ◆ 専門職員(※)を配備し、必要な情報を提供することにより子育てに関する疑問や悩みを解消する場
 - ※ 専門職員には、保健師・保育士・保育コンシェルジュ（就園支援、幼稚園・保育園情報の提供等）などを配置し、幼稚園や保育園の就園と関わりの深い就労支援を、ハローワークの情報を活用して実施します
- **ふれあい機能**
 - ◆ 乳幼児期から就学前の親子を対象に、絵本の読み聞かせをはじめ、子育て講座等のイベントを実施、子育て中の家族の交流の場としての活用
- **図書館機能**
 - ◆ 一般的な公立図書館の児童書コーナーが拡大されたようなものではなく、子どもたちのための絵本や児童書、保護者向けの実用書（育児関連書籍、情報書籍等）が主体の蔵書構成

幼稚園保育園関係

磐田市こども部幼稚園保育園課

1 バディ保育園の開園について

平成 29 年度から認可保育園として新設開園します。

○バディ保育園（磐田市見付 1972-2）

運 営 主 体 社会福祉法人 青風会

事業の種類 認可保育所

事業開始日 平成 29 年 4 月 1 日

定 員 120 名

認 可 申 請 平成 28 年度末

2 こうのとり豊田保育園のこども園への移行について

平成 29 年度から幼保連携型こども園となります。

○（仮）聖隷こども園 こうのとり豊田

運 営 主 体 社会福祉法人 聖隷福祉事業団

事業の種類 幼保連携型認定こども園

事業開始日 平成 29 年 4 月 1 日

定 員 1 号認定：15 名（予定）

2・3 号認定：140 名（予定）

認 可 申 請 平成 28 年度末

3 磐田市立青城幼稚園のこども園への移行について

保育ニーズが高い豊田地区の待機課題解消のため、青城幼稚園をこども園に移行します。

○（仮）磐田市立青城こども園

事業の種類 幼稚園型認定こども園

事業開始日 平成 29 年 4 月 1 日

定 員 調整中

認 可 申 請 平成 28 年度末

4 小規模保育園の認可について

地域型保育事業の小規模保育園（0～2 歳児が対象、定員上限 22 名）として、下記 2 園が認可されました。

○ハッピー保育園（磐田市富丘 774-1）

事業の種類 小規模保育事業 A 型

事業開始日 平成 28 年 12 月 1 日

定 員 9 名（0 歳児：3 名、1 歳児：3 名、2 歳児：3 名）

○はあとふる保育園（磐田市豊島 1493-1）

事業の種類 小規模保育事業 A 型

事業開始日 平成 29 年 4 月 1 日

定 員 19名（0歳児：3名、1歳児：8名、2歳児：8名）

5 磐田市立南御厨幼稚園と磐田市立東部幼稚園の統合について

南御厨幼稚園の園児数減少に伴い、良好な教育保育の提供のため、平成30年4月から東部幼稚園と統合して園運営を行います。園施設については、南御厨幼稚園を閉園し、東部幼稚園を活用します。

6 磐田市立福田中幼稚園と磐田市立福田こども園の統合について

福田中幼稚園の園児数減少に伴い、良好な教育保育の提供のため、平成30年4月から福田こども園と統合して園運営を行います。園施設については、福田中幼稚園を閉園し、福田こども園を活用します。

7 磐田市立磐田中部幼稚園の再築について

園舎の老朽化に伴い、園舎の再築をします。本年度に基本構想を策定し、平成29年度に基本・実施設計を策定予定。

8 磐田市立幼稚園の通園区自由化について

平成29年度の入園から保護者の園選択の自由化、各園の園児数バランスの格差是正、多様な保育ニーズへの対応として、通園区を自由化します。

9 磐田市幼稚園・保育園再編計画（第2期）について

本年度中の策定及び公表に向け、庁内・関係機関との調整を行っています。

放課後児童クラブの施設拡充

～「待機児童ゼロ」の継続に向けた取り組み～

【概要】

平成 27 年度から利用学年を 6 年生までに拡大したこと等を背景に、4 月利用者数は平成 26 年が 961 人、平成 27 年は 1,045 人、平成 28 年は 1,194 人と年々増加傾向にあります。現在、専用施設での定員を超える入室希望がある場合は、一時的に図工室等の特別教室を借用するなどの措置を講じて「待機児童ゼロ」となっていますが、入室希望の更なる増加への対応と「待機児童ゼロ」を継続するため、平成 29 年度当初に向けて施設の拡充を図ります。

なお、今回の拡充に併せて、平成 29 年度から下記のとおり入室基準の一部（祖父母の年齢要件）を緩和します（※）。

※同居や同一敷地内等の隣接地に祖父母が居住している場合、就労や疾病等の状態にかかわらず入室できる年齢を 75 歳以上としています。この年齢を 70 歳以上に引き下げることにより、入室対象を拡大します。

【具体的内容】

①本年度における取組みの経緯

- ・過去 3 年間（平成 26～28 年度）の利用者数を基に平成 29 年度の入室希望者数を推計し、定員を超過する可能性のある小学校を抽出した。
- ・本年 5 月から 7 月にかけて 6 小学校（磐田西小、東部小、富士見小、豊田北部小、豊田東小、青城小）と余裕教室の借用やプレハブ建設用地の確保について協議を重ねた。
- ・整備方針を固め、施設整備費について 9 月議会へ補正予算を計上し、審議の結果、10 月 11 日に議決された。

11 月の富士見小第 3 児童クラブの開設を皮切りに、来年 4 月に向けた施設整備をスタートします。

②補正予算の概要

【主な事業費】

- ・プレハブ棟建設工事 85,316 千円
- ・備品購入費 3,141 千円

【事業の内容】

下記の取組みを行い、平成 29 年度当初の本市における児童クラブ数は 49(平成 28 年度当初は 43)、定員は 1,711 人(平成 28 年度当初は 1,459 人。252 人増)となる予定。

- ・余裕教室を活用した新設等…磐田西小、豊田北部小、青城小
- ・プレハブ建設による施設…東部小(2階建て2部屋)、
豊田東小(平屋建て2部屋併設)
- ・民家の賃貸による施設…富士見小 ※学校から約 180mの木造2階建て。

【問い合わせ】

教育部教育総務課 TEL0538-37-2773